

# 第108期 株主通信

# BUSINESS REPORT

平成29年2月1日 → 平成30年1月31日



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成30年1月31日をもって第108期事業年度(平成29年2月1日から平成30年1月31日まで)を終了いたしましたので、ここに株主通信をお届けし、当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。株主の皆様におかれましては、よろしくご高覧のうえ当社グループに対しまして、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
長岡 勤

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調に推移する企業収益とそれを後ろ盾とする良好な所得・雇用環境が個人消費の押し上げに波及していく状況にありました。

当社グループにおいては、夏場から秋口にかけての天候不順の影響はありましたが、訪日外国人の観光需要の拡大基調が続くなど、総じて良好な営業環境に支えられました。

先行きについては、近隣諸国をはじめとする海外情勢について依然として不透明感が残るものの、個人消費の回復を伴った本格的な景気の拡大が期待されます。

このような状況のもと、当社グループは、平成28年2月から平成33年1月までを対象期間とする中期経営計画「新機軸」に掲げた経営目標の達成に向けて、総力を挙げて以下のアクションプランに取り組みました。

「東京ドームシティ(以下、TDC)に、将来にわたり持続的に価値をもたらすための環境整備」につきましては、東京ドームにおいて、迫力あるプレーを間近に観戦いただくエキサイトシートの増設、1・2階の内野席の改修をはじめ、アリーナ照明の完全LED化や正面ゲートの大型デジタルサイネージの設置などの環境整備を計画通り完了し、付加価値の高い商品・サービスの提供に加えて省エネや環境負荷低減への対応も行いました。

スパ ラクアにおいては、開業以来初めての大規模リニューアルとして、浴室エリアに炭酸泉の檜風呂やフィンランドサウナ、飲食エリアに軽飲食のニーズに対応したカフェ&デリコーナーとドリンクカウンター

を新設いたしました。また、館内休憩スペースの拡充とリラクゼーション機能を高めた「ラクアリビング」の設置などを行い、お客様に好評をいただいております。

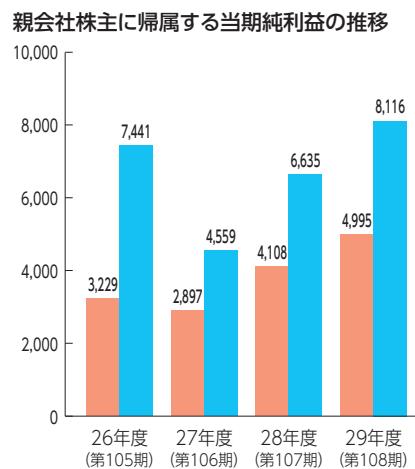
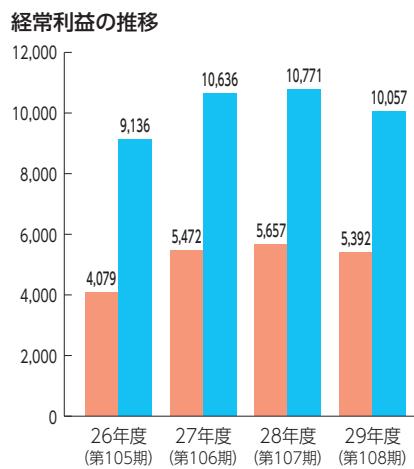
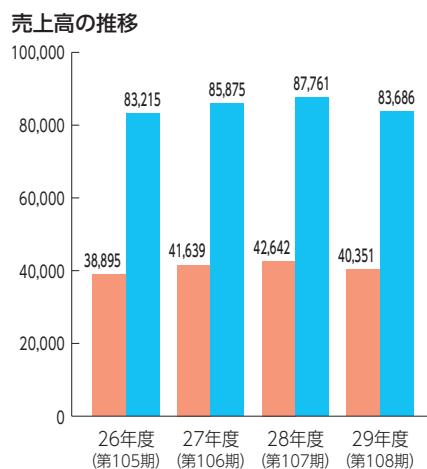
ミーツポートにおいては、高水準の稼働を維持するイベントホールとしての側面だけでなく、飲食ビルとしての認知度向上を目的として商業棟の顔となるファサードやサインの改修によるアイキャッチの強化とともに、テナントの入替に合わせた集客キャンペーンを行いました。

昨年春には、ボウリングの楽しみ方の新提案としてバーカウンターを併設した東京ドームシティ ボウリングセンター「CuBAR LOUNGE(クーパーラウンジ)」と、エンタテインメントとライブ感を体験できる遊べるギャラリー「Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)」の二つの新施設をオープンいたしました。いずれもTDCに新たに創出された“大人の遊び場”として、順調な滑り出しを見せております。

「熱海後樂園ホテルのリニューアル」につきましては、昨年夏に新たな宿泊施設と日帰り需要をターゲットにした施設の建設に着手し、平成31年春のリニューアルオープンに向けて順調に工程を進めております。

「TDC内外における新規事業の追求及び新規顧客の獲得」につきましては、協力先と共同で開発した美術館などで役立つ音声ガイドをスマートフォンで利用できるサービス、多言語オーディオガイドアプリ「Audio guide Q」をTeNQやふるさと祭りで活用し、来場者の利便性を高めております。今後も全国の学術施設や観光・文化施設などへの拡販に注力してまいります。

連結業績ハイライト ■ 第2四半期 ■ 通期(百万円)



【TDC外の既存事業の事業性の維持と向上】につきましては、関東・関西のステーションビルを中心に展開するセレクトショップshop inと並ぶ新業態として、30代以上の女性をイメージターゲットに上質なアイテムを提供する「Crème et Rouge(クレームエージュ)」を立ち上げ、昨年4月に大阪梅田に第1号店を出店いたしました。

公共施設などの運営・管理を受託する指定管理事業については、「武蔵野の森 総合スポーツプラザ」など新規案件を獲得し、事業規模を拡大しております。

【グローバル化・ユニバーサル化を視野に入れた環境整備】につきましては、インバウンドのお客様の受入態勢整備の一環として、TDC構内におけるフリーWi-Fiの整備と案内看板の多言語化を行いました。

TDC公式ホームページにつきましても、近年閲覧率の高いスマートフォンへの対応、ビジュアルの多用化により施設の魅力訴求を高めたインバウンド向け多言語ページの充実などのリニューアルを行い、本年1月に新サイトを公開しております。

【いつも安全・安心な環境を保ち続けること】につきましては、社会的事件・事故からグループ内のヒヤリハット事例や気がかり情報に至るまでを一元的に管理する「インシデント情報管理システム」の運用を開始し、全役職員に亘る情報共有を可能としました。

当社グループは、安全・安心な環境を保ち続けるために日頃から教育活動や安全啓発に向き合っておりますが、非常に多くのお客様を預かる立場として、防災訓練、消防訓練の他、災害時帰宅困難者への対応やJア

ラート発令時の対応など、様々なリスクを想定した訓練を行っております。

【人的資源の獲得・育成】につきましては、新たに設置した専門部署の主導のもと、グループ内従業員を対象とした講習会や研修を行い、フィードバックを繰り返すことで人材のレベルアップに取り組んでおります。作成された教育プログラムについては他社からの講演や研修の依頼も受けており、今後も更なる深化を目指します。

多様な人材の活用とチャレンジングな組織風土の醸成を趣旨とする人事制度の見直しを図り、実務の中核を担う資格層の年俸制への移行、お客様へのホスピタリティを支える人材の専門職社員への登用などを行いました。

【グループ経営体制の再構築】につきましては、マーケティング本部を新設し、TDCとして共通の方向性のもと、グループ全体での戦略的なマーケティング施策を策定、推進してまいります。

連結業績といたしましては、東京ドームにおけるワールド・ベースボール・クラシックの開催やコンサートイベントの増加はあったものの、近隣エリアの客室供給増に伴う東京ドームホテルにおける稼働率の低下に加え、熱海後楽園ホテルのリニューアル計画に基づく営業規模の縮小及び東京ドームホテル 札幌の営業終了といった特別な要因により、売上高は836億8千6百万円(前期比4.6%減)、営業利益は113億8千9百万円(前期比9.5%減)、経常利益は100億5千7百万円(前期比6.6%減)となりましたが、投資有価証券売却益の計上により親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、81億1千6百万円(前期比22.3%増)となりました。

当社グループは、中期経営計画「新機軸」において掲げております

- ①「平成33年1月期の連結営業利益130億円」
- ②「平成33年1月期の連結有利子負債残高1,390億円」
- ③「平成33年1月期の連結ROA(総資産経常利益率)4%、連結ROE(自己資本利益率)6%」
- ④「一株当たり12円の配当に加え、連結当期純利益60億円を超える部分のEPS(一株当たり利益)×30%分の配当を業績に応じて実施」

という4つの目標の達成に向けて、以下の取り組みを予定しております。

東京ドームにおいては、創立80周年記念事業として平成28年より三ヶ年に亘る大規模リニューアルを計画し、これまでに高付加価値シートの導入やエキサイトシートの増設、全内野席の改修、照明のLED化、音響設備の更新などの観戦環境の改善に加えて、公衆トイレの改修や多目的トイレの設置などの周辺環境の整備も実施しました。

最終年度となる今期においては、外野バックスクリーン内に「パーティスイート」に続き、専用ラウンジでの飲食サービスがセットになった「バックスクリーンクラブ」を新設、1階コンコース内バックスペースを飲食売店や巨人軍のファンサービスエリアへ転換するなど資産の有効活用を図るとともに、外周部のタイル張り替えによる防滑機能の更新、LED外灯の増設などにより安全性の向上も図ります。今後とも日本一の多目的大規模集客施設のブランドを維持すべく、更なる環境・サービスの向上に努めてまいります。

一部フロアが返還された黄色いビルの活用につきましては、公営競馬の場外馬券発売所である「offt後楽園」を階上に移転し、一般エリアに加え指定席で競馬を楽しめる「ラウンジ・セブン」でのサービス開始を予定しており、来館者の満足度の向上とビル自体の価値増大を期待しております。

TDC全域における環境整備としましては、TDC公式サイトのリニューアルに合わせて、主にインバウンドのお客様を対象としたオリジナルフリーWi-Fiを整備するとともに、QRコードを表記した案内看板を設置し、読み取った方を公式サイトへ誘引するなど、来場者の利便性の向上を図ります。また、災害時にはインバウンドを含む全てのお客様に災害用ネットワークをご利用いただくことで、的確な情報提供やパニック緩和にも対応してまいります。

増加する訪日外国人の対応としましては、お客様へのPR、施設利用の動機付けを図るため、アトラクショ

ンズ、ボウリングの他、東京ドームホテルやテナントを含む飲食店舗での割引・特典サービスが受けられるクーポンサイトを公式ホームページ内に導入し、TDC全体でのプロモーションを進めてまいります。

東京ドームホテルにおいては、1,000室を超える収容力を活かし、東京ドームでのイベントと連携したスポーツ・音楽関係団体の誘致や修学旅行及びインバウンド団体などへの働きかけを強化することにより基礎稼働の底上げを図ります。

熱海後楽園ホテルのリニューアルにつきましては、相模灘を一望する熱海最大級の日帰り温泉施設をはじめ、伊豆をテーマにしたダイニング&マーケット、屋外には季節毎のイベントが開催できるテラスや憩いの広場を設け、「エクセレンシィ フロア」を備えたタワー館とともに、ワンランク上の宿泊利用や日帰り需要など様々なニーズと期待にお応えする複合型リゾート施設を目指し建設しております。これから宣伝・販促活動を本格的に展開し、今年の夏には団体予約を、秋には個人予約の受付をスタートさせる予定としております。50年に亘って受け継がれてきた“おもてなしの精神”を大切にしながら、ホテルとスパ ラクアの運営ノウハウを活かし、多くの皆様に愛される施設づくりを進めてまいります。

指定管理事業についても、西東京市のスポーツ・運動施設10施設の新規受託が決定するなど引き続き事業の伸長を図ってまいります。

グループの経営体制の再構築を見据えた人的資源の活用につきましては、各社の連携と協力のもと、グループの円滑な事業運営を永続的に行うための人材の採用・育成・活用を司るグループ人事の確立に向けて取り組みを開始いたします。

国内経済は、国民行事たる「東京オリンピック・パラリンピック」を控え、良好な水準で推移することが予想されます。当社グループにおきましては、これまでに培った取引先や地域社会との協力関係を基礎として「新機軸」で掲げた課題を解決し、目標を達成するために、必要な施策をひとつひとつ実行し、グループの企業価値向上を目指してまいります。

当社グループは、「お客様と『感動』を共有し、豊かな社会の実現に貢献する」という経営理念を実践すべく、今後もグループの総力を結集して事業に邁進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りまして、より一層のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

## 東京ドームシティ事業 ● 東京ドーム、東京ドームシティ アトラクションズ、東京ドームホテル、ラクーア(スパ・フィットネス)、黄色いビル等

### 東京ドーム

東京ドームは、巨人戦の安定的な動員とイベントの増加により稼働は好調でありましたが、物販において最高売上となった前期の水準に達せず、減収となりました。

### 東京ドームシティ アトラクションズ

東京ドームシティ アトラクションズは、シアターGロッソにおける自主興行公演の開催時期の変更に伴う公演数の減少により、減収となりました。

### 東京ドームホテル

東京ドームホテルは、客室稼働率が低下したことにより、減収となりました。

### ラクーア

スパ ラクーアは、リニューアルに伴う休館により、減収となりました。なお、リニューアルオープン後は前期を上回る水準で推移しております。

### 黄色いビル

黄色いビルは、一部フロアの返還により、減収となりました。

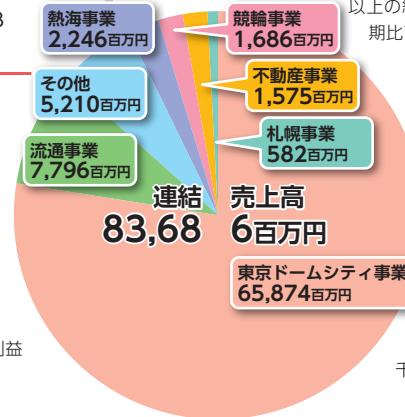
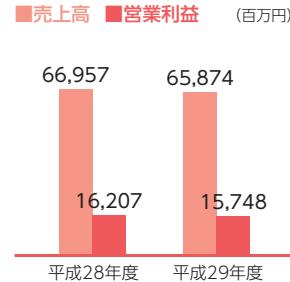
以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は658億7千4百万円(前期比1.6%減)、営業利益は157億4千8百万円(前期比2.8%減)となりました。



東京ドームシティ

主な連結子会社

- 【東京ドームホテル】(株)東京ドームホテル
- 【スパ・フィットネス】(株)東京ドームスポーツ
- 【その他】(株)東京ドームファシリティーズ/後楽園事業(株)



## 熱海事業 ● 熱海後楽園ホテル等

熱海後楽園ホテルは、リニューアル計画に基づき平成28年9月以降はタワー館単館での営業となったことにより、減収となりました。

以上の結果、売上高は22億4千6百万円(前期比34.0%減)、営業損失は5億4千4百万円(前期比4億2千4百万円の損失増)となりました。

主な連結子会社【熱海後楽園ホテル等】(株)東京ドーム・リゾートオペレーションズ



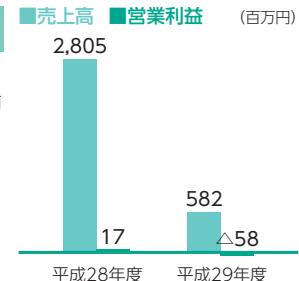
熱海後楽園ホテル

## 札幌事業 ● 東京ドームホテル 札幌

東京ドームホテル 札幌は、平成29年4月末をもって営業を終了いたしました。

以上の結果、売上高は5億8千2百万円(前期比79.2%減)、営業損失は5千8百万円(前期比7千6百万円の減益)となりました。

主な連結子会社【東京ドームホテル 札幌】(株)札幌後楽園ホテル



東京ドームホテル 札幌  
平成29年4月末 営業終了

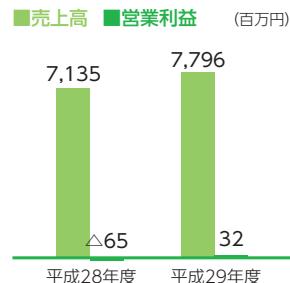
## 流通事業 ● ショッピング、クレームエージェンシー(化粧品・雑貨小売店)

新業態としての「Crème et Rouge」の新規開店を含めた店舗数の増加と、既存店の好調により、全ての月間売上において前期を上回り、黒字計上となりました。

以上の結果、売上高は77億9千6百万円(前期比9.3%増)、営業利益は3千2百万円(前期比9千8百万円の改善)となりました。



ショッピング



## 不動産事業 ● 賃貸等不動産の管理

テナントの稼働は堅調に推移しましたが、前期の水準には届きませんでした。

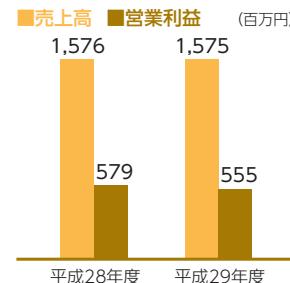
以上の結果、売上高は15億7千5百万円(前期比0.1%減)、営業利益は5億5千5百万円(前期比4.1%減)となりました。



相模原ビル

主な連結子会社

- 【賃貸等不動産の管理】松戸公産(株)/後楽園不動産(株)



## 競輪事業 ● 松戸競輪場等

松戸競輪は、バンク改修に伴う休催に加え、前期に開催されたオールスター競輪がなかった影響もあり、減収となりました。

以上の結果、売上高は16億8千6百万円(前期比20.1%減)、営業損失は1億6千6百万円(前期比2億3千3百万円の減益)となりました。

主な連結子会社【松戸競輪場等】松戸公産(株)



松戸競輪場

## その他 ● スポーツ施設運営受託等

公共施設の運営を請け負う指定管理事業について、受託施設の増加により、増収となりました。

以上の結果、売上高は52億1千万円(前期比2.4%増)、営業利益は1億9千万円(前期比56.1%増)となりました。

主な連結子会社

- 【スポーツ施設運営受託等】(株)東京ドームスポーツ
- 【有価証券の保有・管理】オリンピア興業(株)
- 【その他】進商事(株)



指定管理スポーツ施設

連結貸借対照表(概要)

単位:百万円

科目	第108期	第107期
	平成30年1月31日現在	平成29年1月31日現在
資産の部		
流動資産	26,961	30,470
固定資産	277,824	271,441
有形固定資産	236,176	234,638
無形固定資産	1,315	1,122
投資その他の資産	40,331	35,679
繰延資産	1,891	1,591
資産合計	306,676	303,503
負債の部		
流動負債	59,473	66,412
固定負債	141,763	142,488
負債合計	201,237	208,900
純資産の部		
株主資本	34,850	27,949
その他の包括利益累計額	70,588	66,653
純資産合計	105,439	94,602
負債純資産合計	306,676	303,503

連結損益計算書(概要)

単位:百万円

科目	第108期	第107期
	平成29年2月1日から平成30年1月31日まで	平成28年2月1日から平成29年1月31日まで
売上高	83,686	87,761
売上原価	66,478	69,441
売上総利益	17,208	18,320
一般管理費	5,819	5,730
営業利益	11,389	12,589
営業外収益	649	677
営業外費用	1,981	2,496
経常利益	10,057	10,771
特別利益	2,477	311
特別損失	1,185	1,670
税金等調整前当期純利益	11,349	9,412
法人税、住民税及び事業税	1,468	1,082
法人税等調整額	1,764	1,694
当期純利益	8,116	6,635
親会社株主に帰属する当期純利益	8,116	6,635

連結株主資本等変動計算書

第108期(平成29年2月1日から平成30年1月31日まで)

単位:百万円

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,038	777	25,621	△ 488	27,949	11,397	55,286	△ 29	66,653	94,602
会計方針の変更による累積的影響額			121		121				121	
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,038	777	25,743	△ 488	28,071	11,397	55,286	△ 29	66,653	94,724
当期変動額										
剰余金の配当			△ 1,334		△ 1,334					△ 1,334
親会社株主に帰属する当期純利益			8,116		8,116					8,116
自己株式の取得				△ 1	△ 1					△ 1
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						3,253	—	682	3,935	3,935
当期変動額合計	—	0	6,781	△ 1	6,779	3,253	—	682	3,935	10,715
当期末残高	2,038	777	32,525	△ 490	34,850	14,650	55,286	652	70,588	105,439

(平成30年1月31日現在)

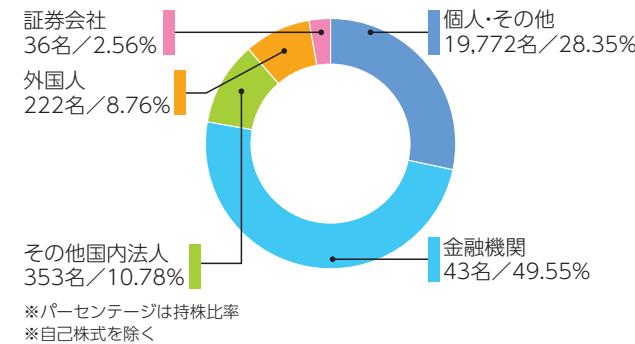
社名 株式会社東京ドーム  
TOKYO DOME CORPORATION  
設立 昭和11年12月25日  
本社 〒112-8575  
東京都文京区後楽1丁目3番61号  
TEL 03-3811-2111(代表)  
従業員数 840名  
資本金 2,038,451,007円  
発行可能株式総数 198,000,000株  
発行済株式の総数 95,857,420株  
(自己株式526,962株を含む)  
株主数 20,427名(自己株式1名を含む)

大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,821	11.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,156	10.65
株式会社みずほ銀行	4,282	4.49
富国生命保険相互会社	4,276	4.48
株式会社竹中工務店	3,343	3.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,475	1.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,412	1.48
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,313	1.37
日本生命保険相互会社	1,304	1.36
三井住友信託銀行株式会社	1,278	1.34

(注)持株比率は、自己株式(526,962株)を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



役員

平成30年4月1日現在

地位	氏名	担当
取締役会長	久代 信次	
代表取締役社長 執行役員	長岡 勤	
代表取締役副社長 執行役員	野村 龍介	経営本部長 兼秘書室・人事部・教育センター部・熱海後楽園ホテルリニューアルプロジェクトチーム担当
代表取締役専務 執行役員	山住 昭宏	営業本部長 兼プロパティ管理担当
専務取締役 執行役員	谷口 好幸	経営本部副本部長 兼安全推進室・審査法務部・広報IR室担当
常務取締役 執行役員	西勝 昭	マーケティング本部長 兼宣伝広告部・営業推進部担当 兼営業本部東京ドーム部担当
常務取締役 執行役員	小田切 吉隆	管理本部長 兼総務部・財務部・施設部担当
取締役	秋山 智史	富国生命保険相互会社取締役会長 富士急行株式会社社外取締役 株式会社帝国ホテル社外取締役 日清紡ホールディングス株式会社社外取締役 昭和電工株式会社社外取締役
取締役	森 信博	
取締役	井上 義久	
常勤監査役	田中 雅昭	
常勤監査役	田中 毅	
監査役	堤 淳一	弁護士
監査役	児玉 幸治	一般財団法人機械システム振興協会会長 株式会社よみうりランド社外監査役
常務執行役員	永田 有平	営業本部興行企画部・ホール部・ミーツポート部・ミュージアム部担当 兼興行企画部長
常務執行役員	久岡 公一郎	経営本部グループ戦略室・公共施設事業室・新規事業開発室・IT戦略部担当 兼新規事業開発室長
常務執行役員	手島 康彦	営業本部営業環境管理担当 兼東京ドーム部長
執行役員	岩瀬 敬之	マーケティング本部営業企画部・開発室担当 兼開発室長
執行役員	棟方 史幸	営業本部ラクーア部・アマチュースメント部・スポーツレジャー部担当 兼ラクーア部長
執行役員	岡 佳和	営業本部業務部・飲食&物販部・流通事業部担当 兼業務部長



## 当社グループの主な営業所 (平成30年4月1日現在)

**東京ドームシティ** 〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号  
 わくわくダイヤル(ご案内専用電話) 03-5800-9999  
 ●東京ドーム(全天候型多目的スタジアム)  
 ●東京ドームシティ アトラクションズ  
 ●ラクーア(天然温泉スパ、アトラクション、ショップ&レストラン、フィットネスクラブ)  
 ●ミーツポート(東京ドームシティホール、ショップ&レストラン)  
 ●後楽園ホールビル(後楽園ホール)  
 ●黄色いビル  
 (東京ドームボウリングセンター、スポドリ!、TeNQ  
 ウインズ後楽園(中央競馬)、オフト後楽園(南関東4競馬))  
 ●プリズムホール(多目的イベントホール)  
 ●Gallery AaMo(多目的ギャラリー)  
 ●レストラン、ショップ 各店

**テナントビル** 松戸公産アドホック新宿ビル(東京都新宿区) 03-3354-2100  
 プチモールニッ木(千葉県松戸市) 047-374-5511

### ショッピング(化粧品・雑貨小売店)

**【東京23区エリア】**  
 アトレ恵比寿店 03-5475-8393 川越アトレマルヒ口店 049-227-5065  
 池袋ショッピングパーク店 03-5956-2631 ルミネ大宮店 048-631-0226  
 池袋マルイ店 03-5957-5960 **【関西エリア】**  
 ルミネ有楽町店 03-5220-3910 京都ザ・キューブ店 075-365-8628  
 銀座インズ店 03-3562-9710 河原町オーパ店 075-255-8141  
 お茶の水サンクレー路店 03-3293-9550 くずはモール店 072-864-5767  
 東京ドームシティラクーア店 03-3868-7066 ルクアイレ店 06-6151-1461  
 赤羽アピレ店 03-3905-2050 天王寺ミオ店 06-6770-1172  
 錦糸町テルミナ2店 03-3624-2130 なんばマルイ店 06-7633-7932  
 ルミネ北千住店 03-3879-1163 なんばウォーク店 06-6484-2556  
 ビーンズ阿佐ヶ谷店 03-5327-3778 心斎橋オーパ店 06-6258-3907  
**【東京23区外エリア】** 天満橋京阪シティモール店 06-4790-6201  
 セレオ国分寺店 042-327-1066 淀屋橋odona店 06-6221-2977  
 町田モディ店 042-726-1180 京橋京阪モール店 06-6356-3408  
**【関東エリア】** ディアモール大阪店 06-6348-4634  
 溝の口ノクティプラザ店 044-814-7524 梅田エスト店 06-6292-5715  
 横須賀モアーズシティ店 046-820-4451 ららぽーと甲子園店 0798-81-6802  
 ルミネ藤沢店 0466-55-1525 川西モザイクボックス店 072-740-2544  
 シャポー船橋店 047-411-2281 **【中国エリア】**  
 シャポー市川店 047-320-9280 広島アッセル店 082-568-9077  
 柏マルイ店 04-7163-8871 岡山一番街店 086-232-1060  
 アトレ松戸店 047-364-7185



熱海後楽園ホテル



ラクーア

### クレームエージェンシー(化粧品・雑貨小売店)

小田急百貨店新宿店(東京都新宿区) 03-6304-5153  
 グランツリー武蔵小杉店(神奈川県川崎市) 044-948-6283  
 阪急三番街店(大阪府大阪市) 06-6292-7415

### 東京ドームホテルズ

東京ドームホテル(東京都文京区) 03-5805-2111  
 熱海後楽園ホテル(静岡県熱海市) 0557-81-0041

### 競輪場

松戸競輪場(千葉県松戸市) 047-362-2181



## 株主ご優待基準・ご優待の内容 (平成30年4月1日現在)

### 株主ご優待一覧(毎月1月31日の基準日に適用)

ご優待の内容	ご所有株式数				
	500株以上	2,000株以上	5,000株以上	10,000株以上	30,000株以上
<b>1 東京ドーム株主優待得10チケット</b>	10ポイント	20ポイント	20ポイント	30ポイント	30ポイント
	有効期限:対象年度の翌年3月31日まで				
<b>2 東京ドーム500円優待券</b>	6枚	6枚	12枚	24枚	30枚
	有効期限:対象年度の翌年3月31日まで				
<b>3 野球株主証</b>	対象:対象年度に東京ドームで開催されるプロ野球パナントレース [読売ジャイアンツ及び北海道日本ハムファイターズの主催試合]のうち、ご希望の試合(所定の数まで) ●ご優待のお席が満席となった際にはお立ち見となる場合がございます。 ●全ての野球株主証についてご本人様確認を行います。				
期間中の最少ご所有株式数	500株以上	2,000株以上	10,000株以上	30,000株以上	
(3年以上5年未満継続保有)	—	巨人戦指定席C2枚又は日本ハム戦指定席1枚: <b>計8試合</b> (株主様限定通信販売で利用の場合:3,000円分)			
(5年以上7年未満継続保有)	—	巨人戦指定席C2枚又は日本ハム戦指定席1枚: <b>計12試合</b> (株主様限定通信販売で利用の場合:3,000円分)			
(7年以上継続保有)	—	巨人戦指定席C2枚又は日本ハム戦指定席1枚: <b>計16試合</b> (株主様限定通信販売で利用の場合:6,000円分)	巨人戦指定席B2枚又は日本ハム戦指定席1枚: <b>計16試合</b> (株主様限定通信販売で利用の場合:6,000円分)	巨人戦指定席A2枚又は日本ハム戦指定席1枚: <b>計16試合</b> (株主様限定通信販売で利用の場合:6,000円分)	

※継続保有の年数については、同一株主番号で1月末日・7月末日のそれぞれの株主名簿に連続して記載又は記録されていることを確認させていただきます。

※継続保有に係る所有株式数については、株式併合前のものは2分の1の数としたうえで、当該期間中いずれの時点においても少なくとも所定の数を保有されていることを確認させていただきます。

※野球株主証を使用する予定が無い株主様は未使用の野球株主証に限り株主様限定通信販売で所定の金額分として使用できます。(引換期限 対象年度の5月31日まで必着)

※巨人戦観戦につきチケット1枚のみ希望される場合は、残りの1枚分については所定の試合数に加えて振り替えて使用できるものとします。ただし、1試合につき2枚までの発券とさせていただきます。

「宇宙ミュージアムTeNQ(テンキュー)」  
第13回企画展『謎の暗闇宇宙展』開催中

宇宙ミュージアムTeNQ(テンキュー)では、体験型イベントのリアル宝探しを展開する「タカラッシュ」とコラボレーションし、TeNQ初の謎解き展示を館内の企画展示室にて開催中です。

本企画展では、置き手紙を残していなくなったプロキシマ星人の友達“ピポパパ”を探しに宇宙にあるギャラクシーシティを探検するストーリーで、参加者は探索用のライトを持って暗がりの宇宙空間に仕掛けられた様々な謎を解いていく体験型の謎解き展示をお楽しみいただけます。

◎期間：2018年7月1日(日)まで開催中

◎料金：TeNQ入館料に含む



「Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)」開業1周年企画  
『「ねこ画展」～ねこ画から生まれた愛おしい世界～』開催中

ギャラリー アーモは今年4月で開業1周年を迎えます。これを記念しまして、猫をテーマに魅力的な作品を発表している新進気鋭の日本人作家8名による「猫の絵画展」を開催中です。

会場では、バラエティ豊かに描かれた猫たちの絵など150点以上を展示します。また、参加作家の本を販売する「にゃんこ堂水道橋店」が期間限定でオープンするほか、本展のためにセレクトしたかわいい猫の雑貨販売も行います。

さらに、ほぼ日の人気アプリ「ドコノコ」プロデュースのねこさがしイベントなど様々な企画が盛りだくさんの遊べる展覧会となっています。

◎期間：2018年7月8日(日)まで開催中

◎料金：大人(高校生以上) 1,300円

小人(小・中学生) 900円

※未就学児無料



熱海後樂園ホテル  
2019年春オープン！「複合型リゾート施設」



熱海後樂園ホテルの敷地内に、宿泊と日帰り需要をターゲットとした新施設を開業いたします。来春に迫った開業に向け、現在順調に建設工事が進んでいます。

新施設は、『新たな時代にマッチした、競争力のある複合型リゾート施設』をコンセプトに、宿泊施設だけでなく、相模湾を一望する熱海最大級の露天風呂や岩盤浴、ロウリュなどを楽しめるリビングゾーンを兼ね備えた日帰り温泉施設、伊豆の食をテーマにしたマルシェ、絶景のテラスを持つライブキッチンレストラン、その他季節ごとのイベントが開催できる屋外ゾーンなどを兼ね備え、旅行者の様々なニーズにお応えいたします。2019年春の開業に是非ご期待ください。

新施設概要

◎客室：100室(洋室タイプ) ※タワー館89室

◎日帰り温泉施設：  
露天風呂・内湯・岩盤浴・休憩エリア・ロウリュ・  
軽飲食など

◎マルシェ：伊豆近郊の食材物販・テイクアウト店舗など

◎レストラン：  
アラカルト・buffetの2業態オールデイダイニング  
(座席数約250席)



※掲載CGは計画段階のものであり、施工上等の理由により変更となる場合があります。  
提供：竹中工務店

- 証券コード** 9681
- 事業年度** 2月1日から翌年1月31日まで
- 定時株主総会** 4月
- 基準日** 定時株主総会・期末配当・株主ご優待 1月31日  
 中間配当 7月31日  
 その他必要あるときは、予め公告して臨時に基準日を定めます。
- 株主名簿管理人  
 及び特別口座  
 の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社
- (郵便物送付先)** 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先)** 0120-782-031 (フリーダイヤル)
- (ホームページアドレス)** <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法** 電子公告により行います。  
 ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告によること  
 ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

**住所変更、単元未満株式の買取・買増のお申出先について**

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理  
 機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

**未払配当金の支払について**

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



**当社の主なあゆみ**

<b>1936/12/25</b>	「株式会社後樂園スタジアム」(現株式会社東京ドーム)設立	<b>1988/3</b>	東京ドーム開場
<b>1937/9</b>	後樂園球場開場	<b>1990/9</b>	㈱後樂園スタジアムを㈱東京ドームに社名変更
<b>1949/5</b>	東京証券取引所に株式上場	<b>1990/12</b>	プリズムホール開業
<b>1949/10</b>	後樂園競輪場開場	<b>1992/7</b>	屋内遊園地「ジオポリス」オープン
<b>1955/7</b>	後樂園ゆうえんち開業	<b>2000/6</b>	東京ドームホテル開業
<b>1962/4</b>	後樂園ボウリング会館全館開場 (現・後樂園ホールビル)	<b>2003/4</b>	後樂園ゆうえんちを東京ドームシティ アトラク ションズに名称変更
<b>1973/4</b>	黄色いビル(場外馬券発売所、ボウリング場など) 開場	<b>2003/5</b>	ラクーア開業
		<b>2008/3</b>	ミーツポート開業
		<b>2009/4</b>	屋内遊園地「ジオポリス」リニューアルオープン

## 〈特別口座で株式を保有されている株主様へ〉

株券電子化制度の開始により、当社の単元株式数に満たない株式(単元未満株式)をお持ちの株主様を中心に、「特別口座」が開設されています。**特別口座でお持ちの株式は、証券取引所で売買することができません。**対象の株主様には、以下のお手続きをお勧めしています。

### ■ 単元未満株式の買取請求制度～単元未満株式をお持ちの場合～

単元未満株式をお持ちの株主様は、単元未満株式の買取請求制度をご利用いただけます。  
お手続き方法は三井住友信託銀行までお問い合わせください。

※買取の価格は、買取請求書類が三井住友信託銀行に到着した日における東京証券取引所の終値(その日に売買がないときは、その後最初になされた売買取引の成立価格)に、買取請求株式数を乗じた金額となります。

### ■ 証券会社の口座への振替

特別口座でお持ちの株式を、ご自身の証券口座に振替えていただくことができます。証券口座に振替えた単元株式は、証券取引所で売買することができます。  
お手続き方法は三井住友信託銀行までお問い合わせください。

※証券口座をお持ちでない株主様は、新たに証券口座を開設していただく必要があります。  
お手続きは直接証券会社へお問い合わせください。

**Q** 特別口座が開設されたかどうかわかりません。

**A** 三井住友信託銀行までお問い合わせください。特別口座の開設状況や必要なお手続きを  
通話無料でご案内します。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)

※電話照会先受付時間：土・日・祝祭日を除く9:00～17:00



株式会社 東京ドーム

〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号

TEL 03(3811)2111(代表)

東京ドーム 企業情報サイト <https://www.tokyo-dome.jp>